

2号機燃料取り出しに向けた工事の進捗について

2024年4月25日

TEPCO

東京電力ホールディングス株式会社

1. 燃料取り出し計画について

- 2024～2026年度の燃料取り出し開始に向け、建屋内と建屋外で作業実施中。
- 燃料取り出し用構台設置後、原子炉建屋オペレーティングフロア（以下、オペフロ）南側に開口を設け、燃料取扱設備を設置する計画。

【建屋内】

- 2023年11月2日から遮蔽設置(準備作業含む)を開始し、2024年3月18日にコンクリート遮蔽の打設完了。
- 2024年3月19日から衝立遮蔽設置(準備作業含む)を開始し、2024年4月2日に設置完了。

【建屋外】

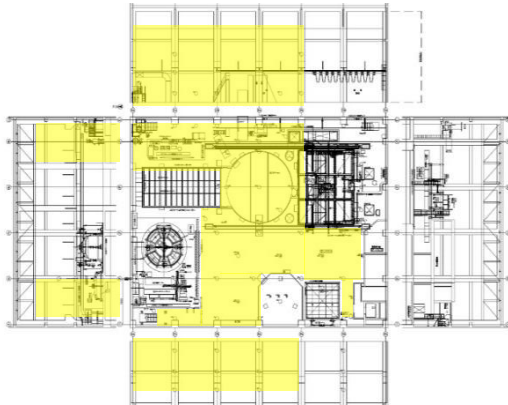
- 2023年9月22日より燃料取り出し用構台、前室部ユニットの建方作業を開始。
- 2023年11月22日より前室部の外装材パネル取付けを開始し、2024年3月1日に設置完了。



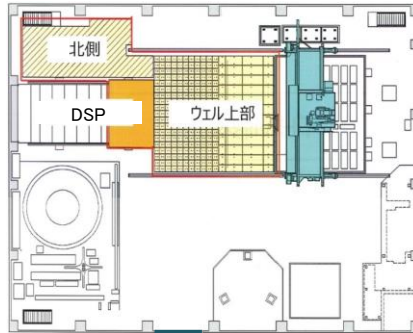
2. オペフロ線量低減の作業ステップ

2021年度 → 2022年度 → 2023年度

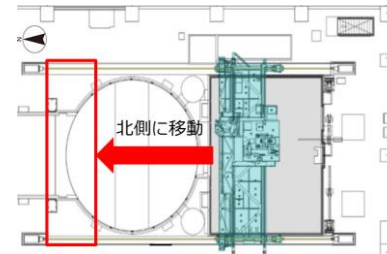
▼現在



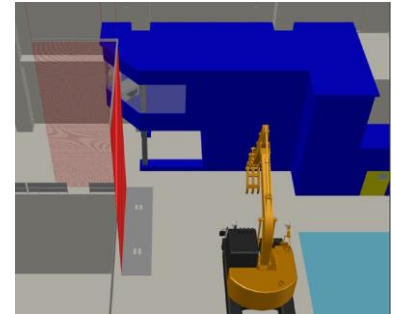
完了①除染 (その1)



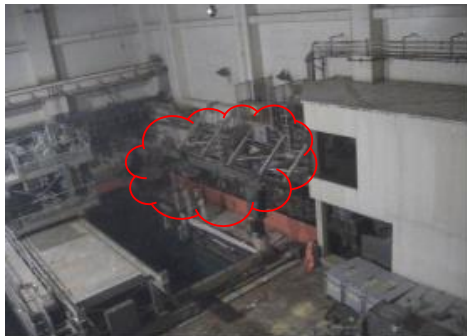
完了②遮蔽設置 (その1)



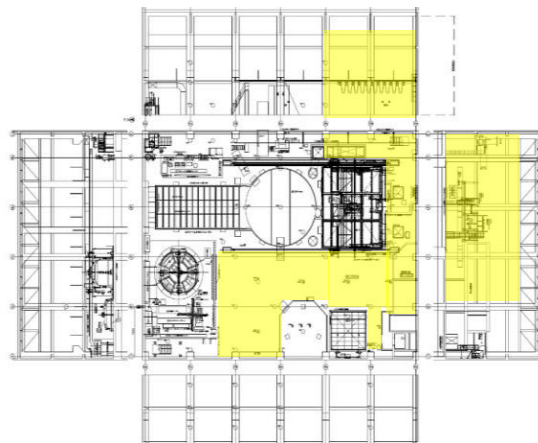
完了③干渉物撤去 (FHM移動)



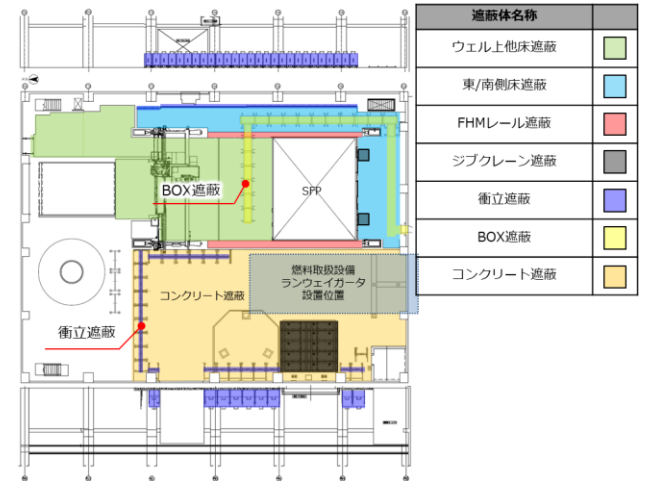
完了④干渉物撤去 (FHM操作室撤去)



完了⑤干渉物撤去 (南側既設設備撤去)



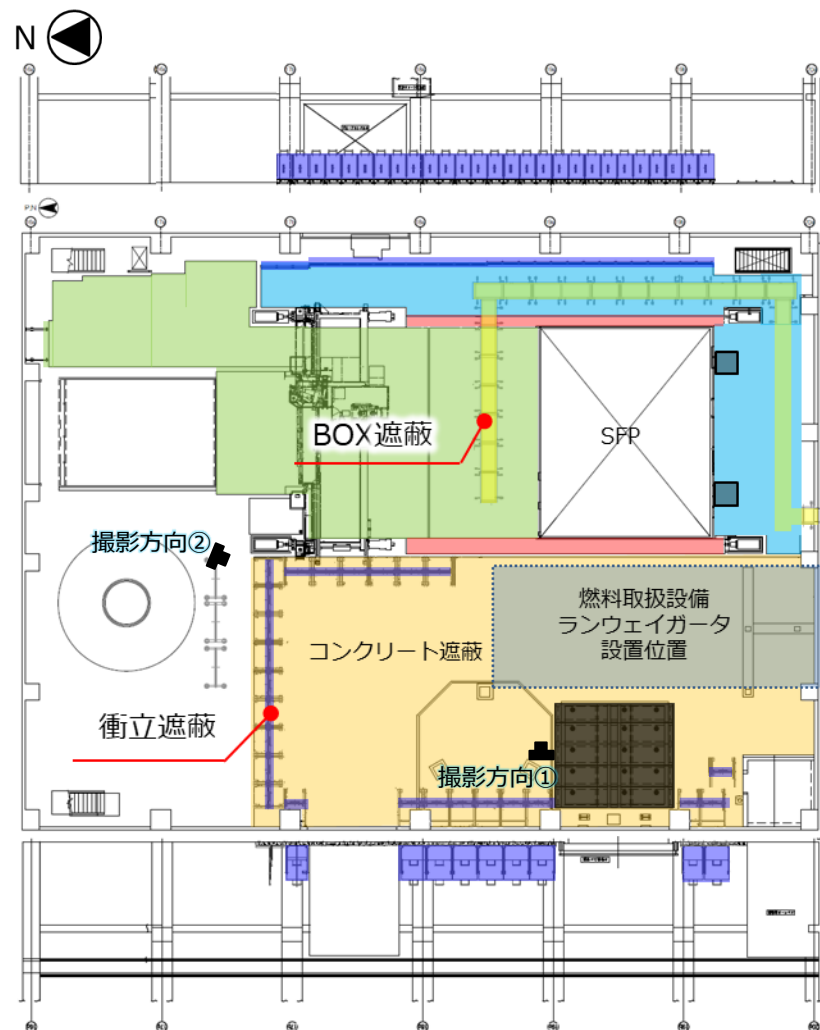
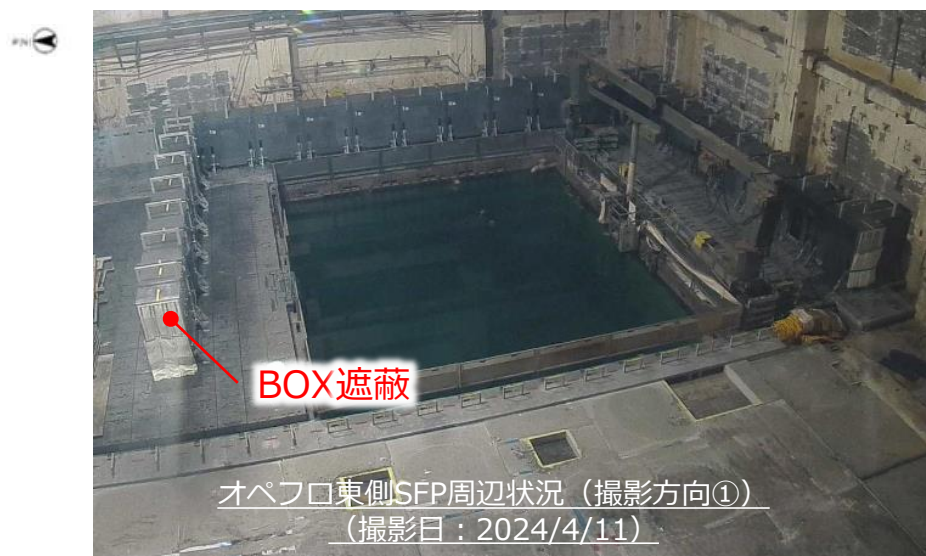
完了⑥除染 (その2)



(今回報告)完了⑦遮蔽設置 (その2)

3. 遮蔽設置（その2）の現場状況

- 2023年11月2日から開始した遮蔽設置（その2）は、2024年4月2日に計画した全ての遮蔽体設置が完了。



遮蔽配置計画

4. 遮蔽設置（その2）後の線量率測定結果及び作業性の見通し

■ 線量率測定結果

✓ BOX遮蔽内：0.25～0.29mSv/h BOX遮蔽外：3～5mSv/h

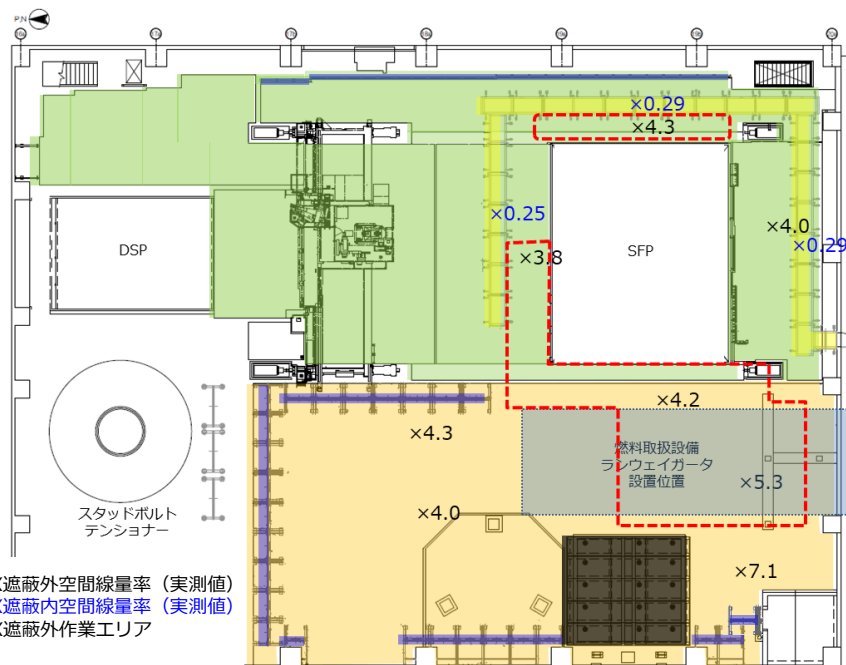
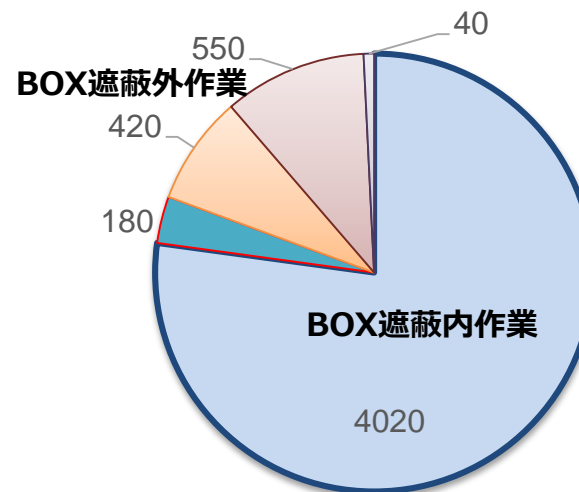
■ 作業性の見通し

✓ オペフロ内の有人作業のうち必要な作業時間が最も多い使用済燃料プール内カメラ・照明設置のうちケーブル敷設作業はBOX遮蔽内で計画。

✓ BOX遮蔽外の作業は、短時間で計画しており、時間管理を行うことで作業可能であると判断。

■ 今後、作業に伴う被ばく線量を低減するため、「補完遮蔽を設置した場合の総被ばく線量」と「現状の環境で設備設置作業を行った場合の総被ばく線量」を比較を行い、より被ばくが低くなるように作業を計画。

オペフロ内作業時間分布（分）



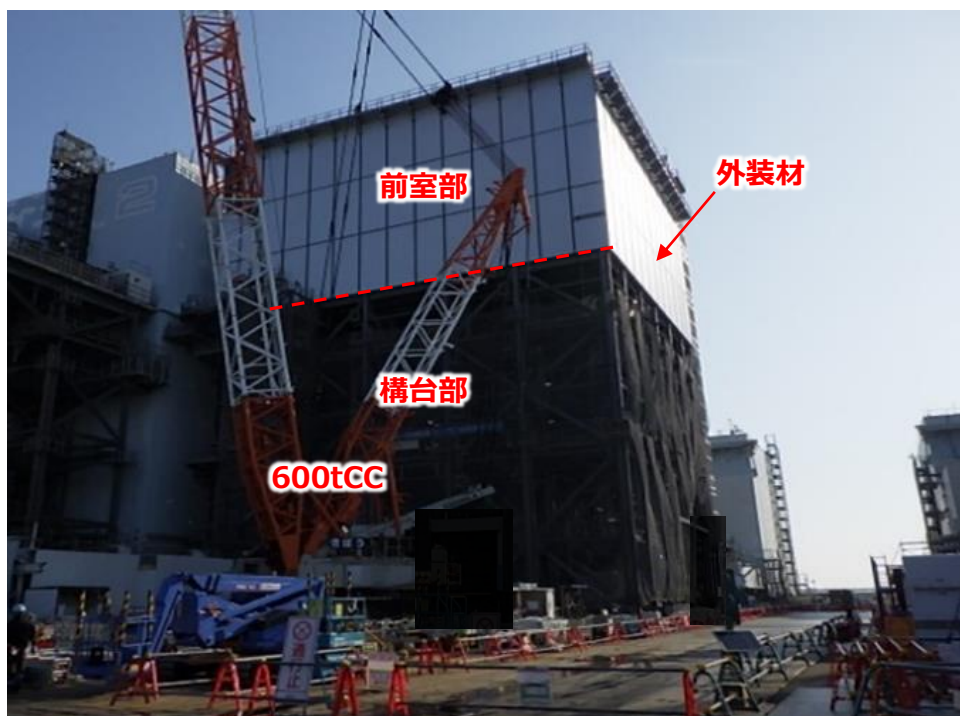
黒字：BOX遮蔽外空間線量率（実測値）
 青字：BOX遮蔽内空間線量率（実測値）
 赤点線：BOX遮蔽外作業エリア

線量測定結果（測定日：2024年4月8日）@1.5m 単位：mSv/h ICW

- 【0.25～0.29mSv/h】 SFP内カメラ・照明設置(BOX遮蔽内)
- 【3.8～4.3mSv/h】 SFP内カメラ・照明設置(SFP近傍)
- 【5.3mSv/h】 既設燃料交換機操作室基礎撤去
- 【5.3mSv/h】 ランウェイガード弾性支承設置
- 【4.2～5.3mSv/h】 燃料取扱設備試運転時確認調整

5. 構台設置工事（鉄骨工事）の進捗状況

- 2023年11月22日より前室外装材を設置開始し、2024年3月1日に設置完了。
- 現在、構内では屋根鉄骨（トラス材の小梁・ブレス）取付作業を実施中。
構外では、屋根鉄骨の地組を継続実施中。



現場全景[南側]（撮影2024.3.15）



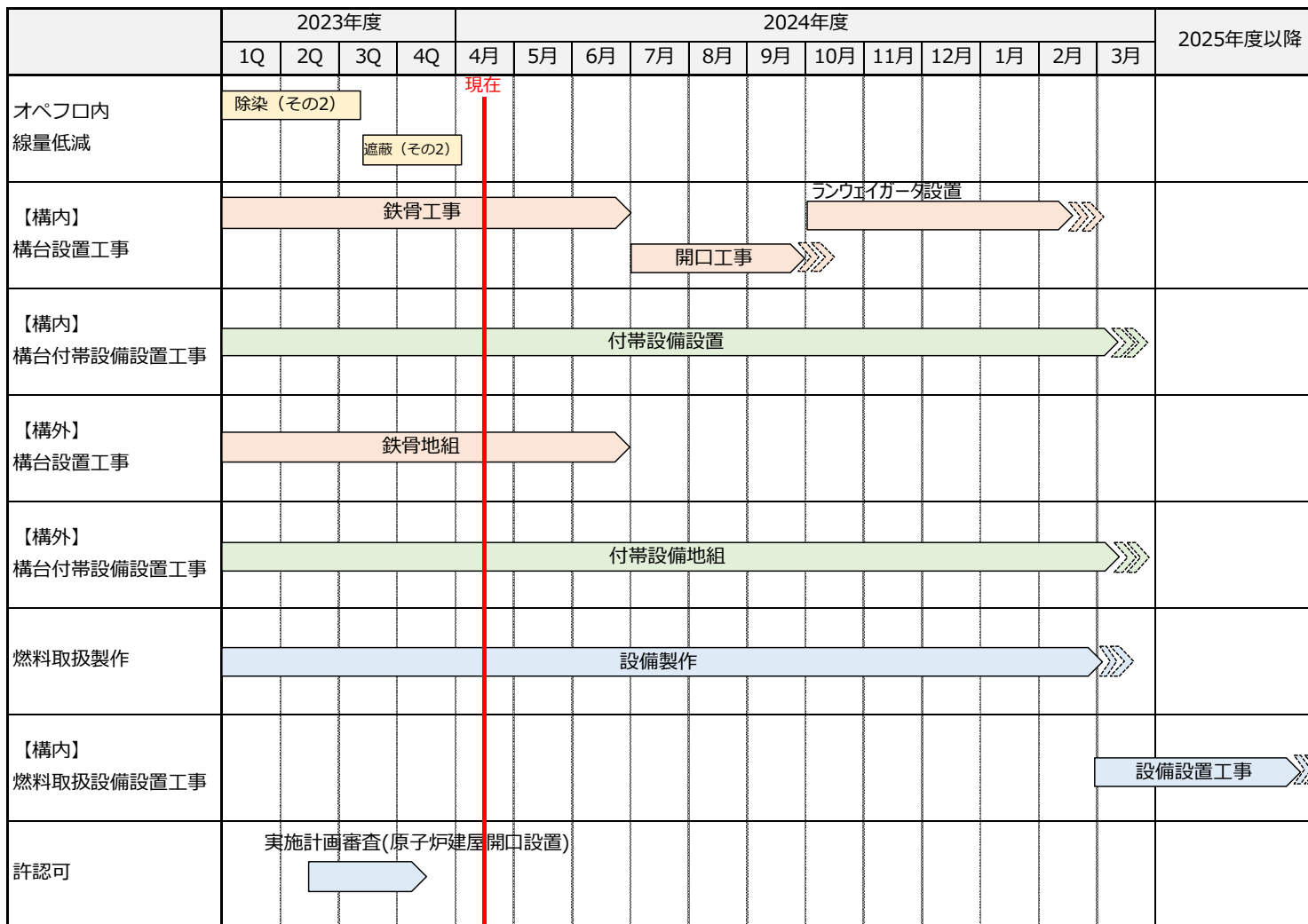
屋根鉄骨設置状況（撮影2024.4.2）



屋根鉄骨地組状況[構外]（撮影2024.4.17）

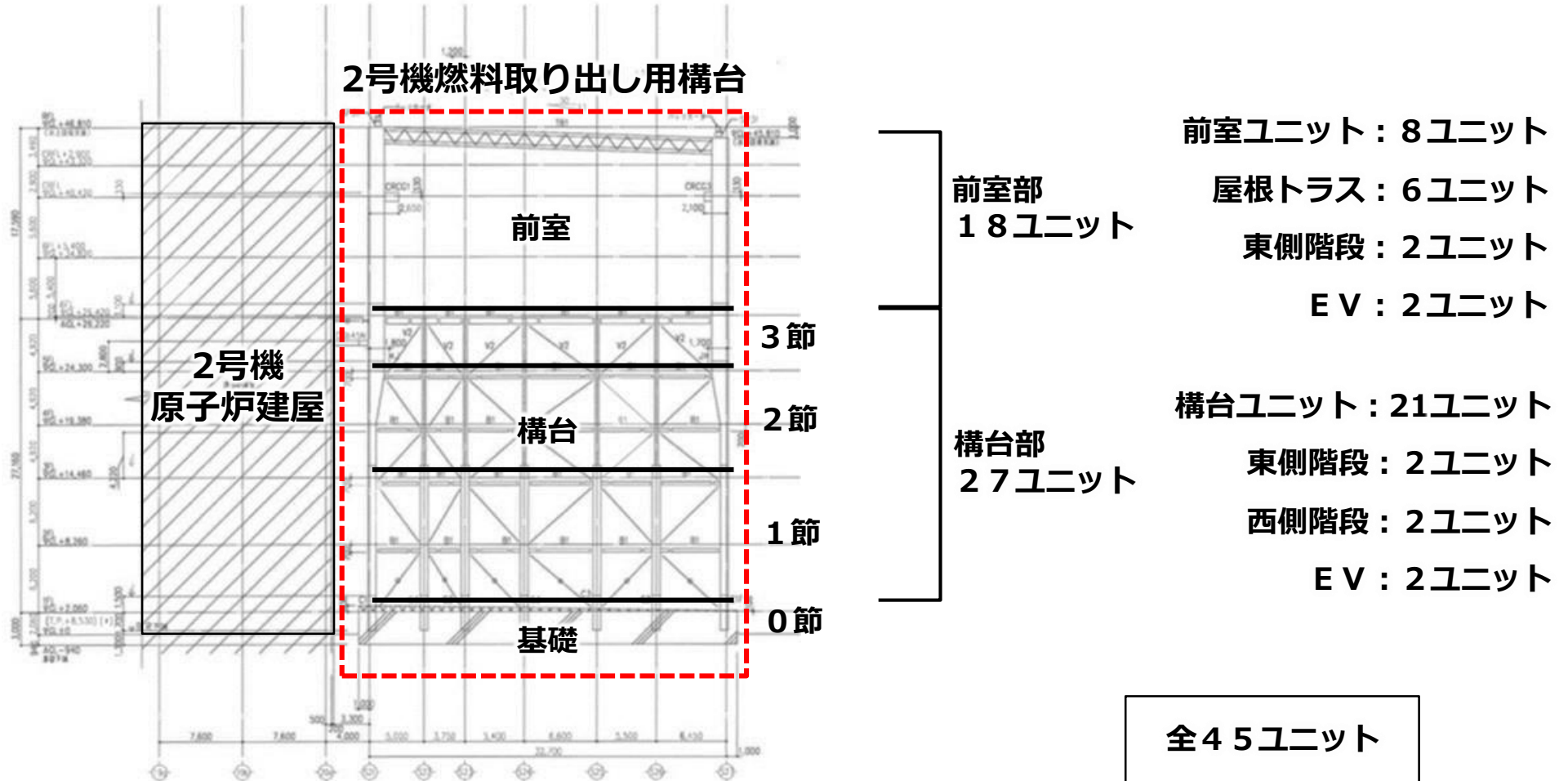
6. 今後のスケジュール

- 2024~2026年度の燃料取り出し開始に向け、現時点で計画通りに進捗。
- 安全最優先に作業を進めてまいります。



※工程の進捗により変更する可能性有
 ※線表については、準備・片付け作業期間含む

- 2号機燃料取り出し用構台の鉄骨ユニットは計**45ユニット**（前室部：18ユニット，構台部：27ユニット）で構成。



燃料取り出し用構台鉄骨ユニット割り図